

- 沼田町のブランドイメージを構築・発信するために、インバウンドの集客が期待できるオーベルジュを整備する。
- 地域食材を磨き上げ、生産者の収入増を目指し、オーベルジュレストランのメニューを開発する。
- インバウンドや富裕層にも対応できる、地域資源を使った体験プログラムを整備し、販売ルートを獲得する。

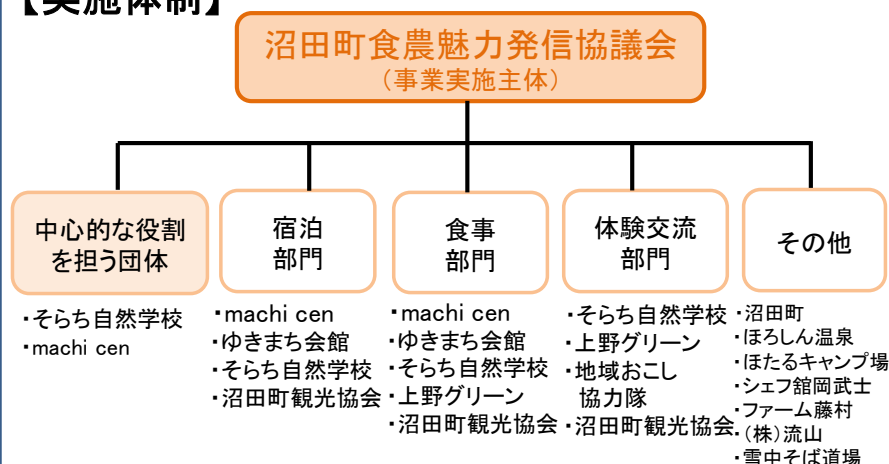
北海道沼田町



【採 択 年 度】
令和6年度

【事業実施期間】
令和6～7年度

【実施体制】



【特徴的な取組】

○町の特産物や地元食材を活用した食コンテンツの充実
米や加工用トマト、「トマト羊(加工用トマトの残渣を飼料として活用)」など、農家の今後の収益増や雇用の拡大を実現していくため、付加価値の高い食コンテンツとしてブランド化に向けた開発を行い、ディステーションレストランへの提供や加工品としての販売を行う。



トマト羊



ディナーメニュー開発

【取組内容】

- ①リゾート開発から農泊への転換
(受け入れ体制の整備)
- ②農泊を進めるためのディステーションレストラン
(オーベルジュタイプ)の設立
- ③特産物や地元食材を活用した食コンテンツの充実
(メニュー開発)
- ④地域資源を活用した観光コンテンツの開発
(体験プログラムの磨き上げ)
- ⑤ブランドイメージの発信と関係人口の構築
(沼田ブランドの発信)



ネイチャーバトラーデモ



収穫体験(脱穀)

宿泊施設の対応状況 (青：対応)

Wi-Fi	洋式トイレ	キャッシュレス	外国語HP	外国語案内表示	外国語ネット予約



オーベルジュ(外観)



オーベルジュ(レストラン)